

2022年9月18日(日)午前10時30分

《聖霊降臨節第16主日》

※本庄教会の礼拝では
聖書は『新共同訳』を
賛美歌は『讃美歌21』を
使用しています。

前奏	
招詞	エゼキエル書 36:26、28
頌栄	24 (たたえよ、主の民)
主の祈り	* 下記をご覧ください。
讚美	464※1, 3のみ (ほめたたえよう) **
交読	『交読詩編』 119 : (ヨド)73~80(139頁、上段「御手が…」~)
信仰告白	使徒信条 (下記をご参照ください)
聖書	旧約 イザヤ書 63 : 15~19 (旧約 1165頁) 新約 マタイによる福音書 6 : 10 (新約 9頁)
祈り	
讚美	441※1, 2のみ (信仰をもて) **
説教	『天の父よ、あなたの国が来ますように』 疋田義也 牧師
祈り	
讚美	494※1, 3のみ (ガリラヤの風) **
献金	
頌栄	27 (父・子・聖霊の)
派遣・祝祷	
報告	
後奏	** 讚美歌は短めとなります。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来たさせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは
限りなくなんじのものなればなり。
アーメン。

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリスト
を信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤ
より生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを
受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に
くだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天
に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、か
しこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きた
まはん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交
はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえ
のいのちを信ず。

アーメン。